

平成 30 年度スポーツ庁委託事業
「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
全国ワークショップ

主 催：筑波大学・日本体育大学・早稲田大学

日 時：2019 年 3 月 5 日（火）14：00～17：15（受付：13：30～）

場 所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 / 放送大学東京文京学習センターB1F 会議室

目 的：

本ワークショップでは、平成 30 年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の成果報告会として、各地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の成果と課題を共有するとともに、次年度の効果的な事業運営に向けた議論を行った。

【プログラム】

14:00～ 開会あいさつ

スポーツ庁審議官 藤江 陽子

14:05～ 各地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践事例

筑波大学 助教 大林 太朗

日本体育大学 特別研究員 乳井 勇二

早稲田大学 研究員 岡田 悠佑

14:35～ パラリンピック教育普及啓発事業報告

日本財団パラリンピックサポートセンター

広報部兼推進戦略部ディレクター 田代 純一

推進戦略部プロジェクトリーダー 徳留 圭吾

14:50～ 関係団体による情報提供

東京 2020 組織委員会アクション&レガシー担当課長（教育担当） 塩見 絢子

東京都教育庁指導部指導企画課指導主事 小宮山 詠美

（休憩・移動）

15:30～ 報告会及びグループ討議

16:45～ 各グループで議論された内容の報告

17:15～ 閉会あいさつ

筑波大学体育系 教授 真田 久

【プログラム詳細】

➤ 各地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践事例

筑波大学、日本体育大学、早稲田大学より、各担当地域拠点の地域セミナーや特徴的な実践例の紹介がなされた。

➤ パラリンピック教育普及啓発事業報告

日本財団パラリンピックサポートセンターより、全国横断パラスポーツ運動会や国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」について説明がなされた。

➤ 関係団体事業および教材等について

東京 2020 組織委員会より、東京 2020 教育プログラム（ようい、ドン！）の現状と今後の展開やOVEP等の教材、イベントの情報等について説明がなされた。

東京都教育庁より、東京都におけるオリンピック・パラリンピック教育の取組概要や、平成 30 年度の実践事例について説明がなされた。

➤ 報告会及びグループ討議

各地域拠点のコーディネーター等（計 60 名）を 7 グループに分け、グループ討議を行った。各グループ内で、各地域拠点における特徴的な実践事例や成果及び課題、地域セミナー及び地域ワークショップについての共有を行い、次年度以降の取り組みに向けた検討が行われた。

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| (A) 北海道、札幌市、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県 | (山梨県) |
| (B) 札幌市、岩手県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、千葉市 | (さいたま市、山梨県) |
| (C) 岩手県、千葉県、横浜市、新潟市、石川県、静岡県、静岡市 | (長野県、新潟県) |
| (D) 岩手県、岐阜県、愛知県、京都府、京都市、大阪市、兵庫県 | (三重県、神戸市) |
| (E) 岩手県、横浜市、滋賀県、和歌山県、兵庫県、愛媛県、大分県 | (三重県) |
| (F) 兵庫県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、熊本県、大分県 | (鳥取県、島根県) |
| (G) 兵庫県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県 | (岡山県) |



写真 1. 会場の様子



写真 2. 事例報告の様子



写真 3. 事業報告の様子



写真 4. グループ討議の様子



写真 5. 発表の様子



写真 6. 閉会あいさつの様子